

6 指標と数値目標

分野アウトカム(目指す姿)-(A)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年・年度)
(1)	糖尿病患者の増加の抑制ができていない。	糖尿病が強く疑われる者の割合(20歳以上)	14.1% (2022年度)	現状維持
		糖尿病患者の年齢調整外来受療率(人口10万人当たり)	106.2 (2020年)	増加
		糖尿病定期受診者のインスリン治療(年1回以上)の実施割合	11.9% (2021年)	減少
(2)	糖尿病の重症化予防ができていない。	糖尿病性腎症による新規透析導入患者数	243人 (2022年)	260人以下
		糖尿病の年齢調整死亡率(人口10万人当たり)	男性16.6 (2020年)	減少
			女性8.7 (2020年)	減少
		糖尿病治療を主にした入院の発生(DKA・昏睡・低血糖などに限定)(糖尿病患者10万人当たり)	238.1件 (2021年)	減少
		重症低血糖の発生率(糖尿病患者1年当たり)	0.8% (2021年)	減少
		治療が必要な糖尿病網膜症の発生(糖尿病患者1年当たり)	1.6% (2021年)	減少
糖尿病患者の下肢切断の発生(糖尿病患者10万人当たり)	53.2件 (2021年)	減少		

中間アウトカム(分野アウトカム達成に必要な状態)-(B)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年・年度)
(1)	糖尿病予備群の減少	糖尿病予備群の者の割合(20歳以上)	6.8% (2022年度)	現状維持
(2)	糖尿病治療の継続及び中断の減少	治療継続者の割合(20歳以上)	68.6% (2022年度)	75%以上
		血糖コントロール不良者の割合(20歳以上)	1.6% (2022年度)	1.4%以下
(3)	標準的な糖尿病治療体制の整備	糖尿病定期受診者のHbA1c検査もしくはGA検査(年1回以上)の実施割合	95.7% (2021年)	増加
		糖尿病定期受診者の尿中アルブミン・蛋白定量検査(年1回以上)の実施割合	17.9% (2021年)	増加
		糖尿病定期受診者の眼底検査(年1回以上)の実施割合	38.6% (2021年)	増加
		糖尿病定期受診者の(血清)クレアチニン検査(年1回以上)の実施割合	90.8% (2021年)	増加
		糖尿病定期受診者の外来栄養指導(年1回以上)の実施割合	4.7% (2021年)	増加
		糖尿病定期受診者の糖尿病透析予防指導(年1回以上)の実施割合	0.9% (2021年)	増加

施策-(C)

No.	項目名	指標名	現状値
①	県民が生活習慣の改善に取り組みやすい環境づくりの推進	特定健診の受診率	56.5% (2021年度)
		特定保健指導の実施率	27.8% (2021年度)
②	健康的な生活習慣についての重要性に関する啓発活動の積極的な展開	糖尿病に関する基礎知識(以下の内容を知っている者の割合)	
		・ 糖尿病の状態によっては、食事や運動の生活習慣を変えることで血糖値をコントロールできる	60.1% (2022年度)
		・ 体重や血圧、血中脂質(中性脂肪やコレステロール)のコントロールは糖尿病の重症化を予防する	51.2% (2022年度)
		・ 糖尿病が重症化すると網膜症、腎症、神経障害等の合併症を引き起こす	56.7% (2022年度)
③	特定健康診査等の実施率向上に向けた保険者の取組の支援	特定健診の受診率(再掲)	56.5% (2021年度)
		特定保健指導の実施率(再掲)	27.8% (2021年度)
④	糖尿病や糖尿病合併症の早期発見・早期治療の重要性に関する啓発の推進	特定健診の受診率(再掲)	56.5% (2021年度)
		特定保健指導の実施率(再掲)	27.8% (2021年度)
⑤	保険者におけるかかりつけ医等と連携した保健指導や受診勧奨等の取組の支援	特定健診での受診勧奨により実際に医療機関へ受診した糖尿病未治療患者	16.4% (2022年)
		糖尿病重症化予防プログラム等による受診勧奨後における医療機関受診状況	34.1% (2021年度)
		糖尿病重症化予防プログラム等によるかかりつけ医と連携した保健指導・受診勧奨等(実施保険者数)	30 保険者 (2021年度)
⑥	治療と仕事の両立支援のため、ガイドライン等を活用した取組の推進	糖尿病重症化予防プログラム等によるかかりつけ医と連携した保健指導・受診勧奨等(実施保険者数)(再掲)	30 保険者 (2021年度)
⑦	標準的な医療の普及啓発	糖尿病専門医数	92人 (2024年1月19日)
⑧	医療機関間や医療機関と地域の連携の推進	日本糖尿病療養指導士数	220人 (2023年6月5日)
		栃木県糖尿病療養指導士数	522人 (2023年6月)
⑨	地域における糖尿病患者に関わる医療従事者等の人材育成や資質向上のための取組の推進	日本糖尿病療養指導士数(再掲)	220人 (2023年6月5日)
		栃木県糖尿病療養指導士数(再掲)	522人 (2023年6月)

No.	項目名	指標名	現状値
⑩	標準的な医療の普及による糖尿病や合併症の的確な診断・早期治療体制の整備	糖尿病専門医が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)	2.4 施設 (2022年)
		糖尿病療養指導士が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)	3.1 施設 (2022年)
		1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数	24 施設 (2021年)
		妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠に対する専門的な治療を行う医療機関数	19 施設 (2021年)
		腎臓病専門医が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)	2.1 施設 (2023年1月31日)
		歯周病専門医が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)	0.7 施設 (2022年12月31日)
		糖尿病網膜症に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)	79 施設 (2021年)
		糖尿病性腎症に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)	16 施設 (2021年)
		糖尿病足病変に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)	30 施設 (2021年)
⑪	県民に対し、医療機能の分担と医療連携の必要性についての啓発の推進	1型糖尿病に対する専門的治療を行う医療機関数(再掲)	24 施設 (2021年)
		妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠に対する専門的な治療を行う医療機関数(再掲)	19 施設 (2021年)
		腎臓病専門医が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)(再掲)	2.1 施設 (2023年1月31日)
		歯周病専門医が在籍する医療機関数(人口10万人当たり)(再掲)	0.7 施設 (2022年12月31日)
		糖尿病網膜症に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)(再掲)	79 施設 (2021年)
		糖尿病性腎症に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)(再掲)	16 施設 (2021年)
		糖尿病足病変に対する専門的治療を行う医療機関数(人口10万人当たり)(再掲)	30 施設 (2021年)